

みのわ

 題字
向山淳


2022.11.6-7 三部会合同視察 福島県 株タンガロイにて

年頭にあたって

商工会長 向山 淳



あけましておめでとうございます。3年前に始まった新型コロナウイルスは第8波になり相変わらずの猛威を振るっています。コロナウイルスの実態もわかってきて商工会の活動も停滞することなく感染予防に努めながらそれなりに実行できたと振り返っています。これもひとえに会員の皆様、また関係各位の皆様方のご協力があったからこそと衷心より感謝申し上げます。

「箕輪町産業フェア2022」も無事に開催することができ今年度の行事も計画通りに実行できそうです。まだまだコロナウイルスがなくなつたわけではありませんが、これまで以上に感染対策を徹底し箕輪町の地域商工業のために何ができるかを役員一同工夫しながら活動してまいりたいと思います。

これからも人手不足、物価高など企業活動にとって非常に厳しい状況が続くと思いますが、商工会としてできることはすべて行うという気持ちをもって令和5年度は事業を進めていく所存です。

皆様方の一層のご理解、ご協力をあらためてお願いしご挨拶いたします。

初めての3部会合同視察研修

スリーアローズ委員長 上田幸生

11月6、7日の2日間、箕輪町商工会として初めての全会員対象の視察研修が実施され、33名が参加しました。今回の研修は、商工会理事の中に「スリーアローズ」という委員会を作り、考えた第1回目の企画です。

戦国武将毛利元就の「三矢の訓」(みつやのおしえ)のごとく、商業・工業・建設業の3部会が、苦しいときこそ業種の垣根を越えて皆で助け合うことが商工会本来の姿という主旨です。

1日目の視察先では、2011年の大震災により倒壊した東京電力福島第一原子力発電所の直近にある福島県富岡町を視察。全町民が非難を余儀なくされ、商店街も一夜にしてゴースタウンとなり、今でも人口の15%程度しか帰還していない状況でした。そのようななかで現地の町長を始め住民の皆さんの郷土を思う気持ち、これからまた頑張ろうという生の声を聞き、逆境に負けない力強さに感銘をうけました。その夜の郡山市の懇親会では、業種を超えた情報交換に様々な話題で盛り上がりました。

2日目の視察先、切削工具の世界的メーカーである株タンガロイでは、あらゆる工程が自動化され業務改善が進んでいる様子に、商業関係の方も勉強になるものがあつたとの声もありました。

「スリーアローズ」では、今後も業種を超えて実現できる事業を提案実施していく予定です。会員の皆様のご参加をよろしく願いたします。

まったくなし! インボイス発行事業者になるための登録はお済みですか?

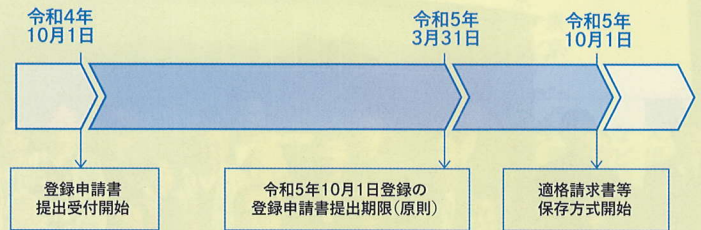
「インボイスが始まる!」と言われても、「難しくてわからない!」というのが皆さんのホンネではないでしょうか。でも今年の10月から消費税インボイス制度は始まります。今回は、とにかくすぐにやらなくてはならない事に限ってお知らせします。

現在、消費税の課税事業者の場合

⇒ 原則として3月31日までに、「適格請求書発行事業者の登録申請書」を所轄する税務署長に提出します。申請をしないと、インボイス制度による「登録番号」がもらえないため、10月1日より必要となる適格請求書や領収書に「番号」が記載できず、そのような取引は顧客側では消費税の控除ができないため、取引をお断りされる可能性もあります。取引を続けてもらえても、「消費税分は支払わない。」と言われるかもしれませんね。提出期限延長の特例措置や消費税の控除の経過措置もありますが、スタートに間に合わないということでは、会社の信用を落としかねません。

※提出期限については、12月23日の閣議決定により、9月30日までに提出すれば10月1日を登録開始日として登録されることになりましたが、事業者側の準備のため早めの申請が必要です。

【登録申請手続きのスケジュール】



現在、消費税の免税事業者の場合

⇒ 現在、消費税の免税事業者の方は、上記の「適格請求書発行事業者の登録申請書」を提出すると、「消費税課税事業者選択届出書」等を提出しなくても、自動的に10月1日から「課税事業者」となります。つまり、消費税を10月1日分から納税しなくてはならないということになります。もちろん、免税事業者のままでいることもできますが、取引の相手先から「適格請求書発行事業者になってインボイスに対応した請求書等してもらわないと困る。」などと言われる場合もありますので、早急に結論を出す必要があります。

①自社の取引先が「インボイス制度に対応した請求書や領収書」の発行を求めているのか、すぐに確認する。

現在の取引のすべてが、個人のお客様で、「インボイス制度に対応した請求書や領収書」はいらなないといった方々ばかりなら、制度に登録せず免税事業者のままで良いのかもしれませんが、お客様が企業の方が多ければ、「インボイス制度に登録して欲しい。」と言われるでしょう。

②課税事業者になり、10月1日以降は消費税を納税するのか、免税事業者のままでいるのか選択し、課税事業者になる場合は原則3月31日までに「適格請求書発行事業者の登録申請書」を提出する。

①での検討の結果、お客様の一部から「インボイス制度に登録して欲しい。」と言われたのなら、迷うところです。そういう企業とは取引をしないという選択肢もあるかもしれませんが、売上は減ってしまいますね。どちらにしたら良いのかわからない方は、すぐに専門家又は商工会にご相談ください。

③「適格請求書発行事業者の登録申請書」を提出した場合には、「簡易課税を選択するかどうか」を検討し、簡易課税方式を選択する場合は、登録日が属する課税期間中に「消費税簡易課税制度選択届出書」を提出します。

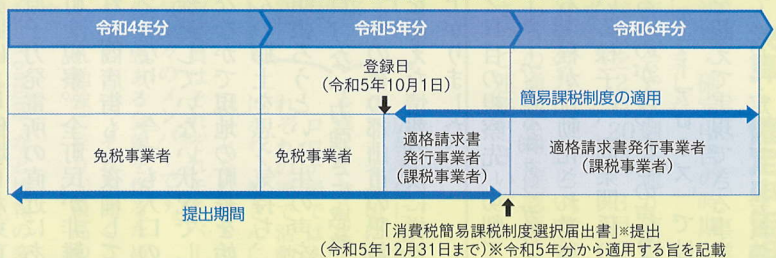
消費税の納税のための計算方法には「簡易課税方式」と「一般課税方式(本則)」とがあり、名称のとおり簡易課税方式の方が、計算が簡単で、税額が少なくなる場合もあります。本来なら、簡易課税と一般課税の選択は、対象となる年度の前日(前の課税期間中)と決まっていますが、今回の「適格請求書発行事業者の登録申請書」提出に伴い課税事業者になる場合は、特例措置があります。

④「適格請求書発行事業者の登録申請書」を提出して登録したが、取りやめたい。

一度、制度に登録して適格請求書発行事業者になっても、「登録の取り消しを求める旨の届出書」を、課税期間の末日から起算して30日前までに提出すれば、次の課税期間から適用を取りやめることができます。

【消費税簡易課税制度選択届出書提出期限】

(例) 免税事業者である個人事業者が令和5年10月1日から登録を受けた場合で、令和5年分の申告において簡易課税制度の適用を受けるとき



この他にも、特例措置や今年度から課税事業者になった場合など、事業者によって対応が異なるケースがあります。いずれにしても、対応しなくてはならない期限はすぐそこに来ていますので、わからないことがありましたら専門家又は商工会にご相談をお願いします。※インボイスへの登録は、強制ではありません。本記事は令和4年12月末の法令等に基づき掲載しています。

企業経営にメリットが！

事業継続力強化計画を策定しませんか？

事業継続力強化計画？ BCP (Business Continuity Planning)？

まだまだ耳慣れない言葉ですね。

自然災害や伝染病、テロ、サイバー攻撃など、企業が予期せぬ危機的な状況に陥った時に被害を最小限に抑え、重要な業務を継続し早期復旧を図るための計画をBCP (事業継続計画)と呼んでいます。

特に日本では2011年の東日本大震災をきっかけにその重要性が注目され、取引先の企業が急に操業を停止しては困るということで、計画策定を求める動きが出ているのです。

「計画を作ればメリットがあるの？」と思いませんか？

国では中小事業者の皆さんが、この計画をより少ない労力で策定し、事業の強靭化を図って欲しいという目的で、「事業継続力強化計画認定制度」を策定しました。

この制度に認定されると、低利融資や信用保証枠の拡大等の金融支援、防災・減災設備に対する税制支援、補助金(ものづくり補助金等)の優先採択などの公的支援もありますが、このような支援策に関係ないと思われる方にも実はこんなメリットがあるのです。



1. 計画策定によって、何が当社の「最重要業務」かが見直しできた。

2. 社内のレイアウトや稼働状況、経営資源の見直しができた。

3. 皆で取り組むことで、社内のコミュニケーションが高まるきっかけになった。

4. 取引先の信用が高まり連携が強化できた。

5. 損害保険の見直しができた。

・・・など

簡単な計画策定に社員皆さんで取り組むことで、社内のコミュニケーションが高まるのならばぜひチャレンジしてみたいですね。

商工会では、計画策定のお手伝いをしています。

商工会では、昨年5月に町と共同で、「事業継続力強化支援計画」を策定し、長野県の認定を受けました。この認定に伴い商工会では、地域内小規模事業者の皆様の防災意識高揚や、「事業継続力強化計画」を策定するためのお手伝い、地域内で災害が発生した場合に備えた防災備品の備蓄などを実施しています。

また、昨年6月には、あいおいニッセイ同和損保(株)様との地域創生に関する連携協定を締結し、各種セミナーの開催や、事業継続計画策定のためのより細かい支援を行っています。

事業活動のリスクに対して必要な保障がパッケージになった『ビジネス総合保険』も、商工会員なら保険料が割安になる中小企業の経営者にとっては願ってもない制度です。

ご関心がある方は、ぜひ商工会にご相談ください。



商工会館北側の防災倉庫には地域の災害復旧に提供出来る安全用品や防災用品を用意している

9月18日に5年ぶりに箕輪町商工会主催の「箕輪町産業フェア2022」来て見て知って育んで」が開催されました。各部会、部の取り組みを紹介します。

オープニング講演会として「働きたくなる会社とは」と題し、(有)テヅカ精機代表の手塚良太さんをパネリストにお迎えし、白鳥箕輪町長、箕輪中学・箕輪進修高校の代表を交えパネルディスカッションを行いました。ディスカッションでは地域で取り組むキャリア教育の大切さなどをお聞きできました。

その他に町内の全保育園児へもみじの塗り絵付チラシの配付を行い、当日お菓子と交換に塗り絵を持って来て頂き、塗り絵の展示を行いました。約80枚の色とりどりのもみじが楽しめ、会場では一足早く箕輪町の紅葉を感じられることができました。

その隣では中学生・大学生向けに、各社展示ブースで会社の紹介チラシ「御社印(ごしゃいん)」を集め、集めた御社印の数に応じて抽選に参加できるスタンプラリーを行いました。スタンプラリーを通して、学生の皆さんに町内の企業について知って貰い、将来の進路の参考になるような企画となりました。「来て見て知って育んで」もらった一日となりました。



商業部会 「箕輪のミライ」

箕輪町文化センターに突如、中学生による全町民に向けた「SDGs商店街」が出現。規格外のりんご、着なくなった服、間伐材などを利用した商品を中学生が作製し、販売を行った。事前に、商業のプロである商業部会員が講師となり、「接客の仕方」「商売に対する想い」「価格の決め方」などの勉強会を行い、当日を迎えた。

箕輪町で長年、商魂を持ってあきないをしてきた大人の姿が屋台骨としてあり、中学生達は、自由な発想で未来の商店街を思わせるような一日を体験してもらうことができた。ゼロカーボン推進・地域の魅力発信企画として、ペレットや薪を燃料とし、地域の食材を使ったピザの振る舞いを中学生と共にやり、大人たちもゼロカーボンについて考える機会となった。

中学生たちはこの日を忘れないと言い、商工会の大人たちもそれ以上に忘れられない一日となった。



青年部 生ライブ配信

青年部では産業フェアのyoutube配信をし、会場に来られない方に向けて講演やイベント、展示等の様子をお届けしました。また講演等については席に限りがあったため、会場内3カ所にモニターを設置し配信を放送することによって、会場の多くの方へ講演の内容等をお伝えする事ができたと思います。配信が止まってしまうなど課題は残りましたが、青年部らしい挑戦的な活動を行いました。



建設業部会 働く車展示・模擬上棟式

建設業部会では、今ではあまり見られなくなった上棟式を想定した餅まき、おひねり、お菓子をコロナ退散を祈って掛け声とともに盛大に撒き、集まった皆様に「福」のおすそ分けが出来ました。

また、役場駐車場では、建設機械、災害時における給水車の展示をしました。実際に高所作業車、クレーン、タイヤドーザーなどの乗車体験を実施しました。親子連れのお子様たちは思い思いの車に乗車し、写真を撮ったりと大変好評でした。



女性部 「こんな素敵なお店があるんです♡ キッズ体験コーナー」

将来の女性の起業家応援として、中学生以下の女の子を対象に、様々な体験ブースを設置しました。プロフェッショナルな部員によるネイル・アイメイク・ヘアパレット製作などの素敵なお店が作られ、沢山の親子連れで賑わいました。

限定人数を上回る人気となり、沢山の女の子の「キラキラ」した笑顔が見られました。実際に体験することで町内に色々な職業・お店があることを知っていただけたと思います。



工業部会 「MIRAI」復活

今回の産業フェアに向けて、先輩工業部会員から以前工業部会で製作したロボット「MIRAI」を再展示しないか?との声がありました。この「MIRAI」は平成30年に開催した「産業フェア」で工業部会員19社より部品提供、加工協力をしていただき、当時の理事が製作作業をし、展示しました。愛称を募集し「MIRAI」と名づけられました。

このまま倉庫に眠らせておくのは確かに勿体ない、ということで5年ぶりに目の見たMIRAIは現在の理事メンバーの総力によって大幅にリニューアル! 展示後は、箕輪進修高校に引き取っていただきました。これからは高校生の「MIRAI」に大きく役にたってくれることを期待します。



みのちゃんカード事業協同組合 特賞3万ポイントが当たる大抽選会

みのちゃんカード事業協同組合では大抽選会を行いました。この大抽選会は事前に加盟店でカードを使ってくださった方を対象に抽選補助券を発行し、産業フェア当日抽選補助券3枚で1回抽選会に参加できるというものです。当日は抽選開始前に長蛇の列ができ、皆さんの感心の高さを実感いたしました。特賞3万ポイントは残念ながら出ませんでしたが、加盟店様よりご提供いただいた多くの加盟店賞はご好評いただきました。また、この産業フェアの来場にもみのちゃんカードを使うと来場ポイントが発行されました。



建青

**萱野高原
フェンス設置**

11月12日(土)に萱野高原で青年部と建設業部会と合同で、地域社会貢献事業の一環でフェンス設置を行いました。

去年の11月に両部合同で「萱野高原を中川村陣馬形山のような人気アウトドアスポットにしていきたい。」という提案から始まり現地の下見と現状の確認を行った結果、全体的に整備されているものの片付けを



必要とする場所や根本的に改修を必要とする箇所があることが分かりました。そこでまず萱野高原の北側建物の西側手摺りが劣化していて危険な状態なのでフェンス設置を行いました。

作業が終わり、フェンスが完成した達成感と充実感がありましたが、美しい眺めが見れなくなってしまった悲しさを少し感じました。

いつの日か、この美しい景色が見れる状況になって欲しい事と、萱野高原が中川村陣馬形山に負けない「人気アウトドアスポット」になって欲しいと強く感じました。(建設業部会)

絆感謝運動の一環として青年部・建設業部会合同で萱野高原の展望デッキ前へフェンス設置を行いました。以前からデッキ部分は耐震強度不足な

ど危険な状態であり、立入禁止としていたましたが、人が入れてしまう状況でした。そういった背景もあり、キャンプ場を安全に利用できるような今回の事業を行いました。上半分が網目になっており、今まで通りとはいきませんが景色を見る事が出来ます。

**女
フラワーアレンジメント
講習会**

＜CHECK＞

2022年12月15日(木)に毎年好評のフラワーアレンジメント講習会を開催いたしました。

講師の「みのわ花園」山口氏にリビンが華やかになるようなお花を、初心者の方も安心して作品ができるようにと考



えていただき、実施いただきました。参加者には初めてお花を生ける部員さんいいましたが、「思ったより簡単で素敵な作品ができて嬉しー！」との感想も頂きました。昨年よりも参加者も増え、にぎやかな講習会となりました。

また、女性部では、一緒に活動していただける部員を募集しております。

ご興味のある方は、ぜひお問合せ下さい。

**商
商工会親睦マレットゴルフ大会**

10月15日

(土)ながた自然公園マレットコースにて福利厚生事業が行われました。新型コロナウイルス感染防止対策を第一に考



え、屋外でできるマレットゴルフとなりました。秋晴れの下、24名が6チームに分かれ林間コース16ホールに快音を響かせ、賞品の「みのちゃんポイント」をかって競いました。

大半の方が久しぶりのマレットゴルフでしたが、各チーム和気あいあいとした素晴らしいスポーツの一日となりました。

多くの会員、家族、従業員が参加して下さい、マレットゴルフを通じて親睦を図ることができました。

商

もみじ湖観光 経済効果100万円!?

今年もネットランキングで全国1位となったもみじ湖の10万人が訪れるともいわれる観光客を箕輪の街中へ誘導できないかと、キャッシュレス実証実験として、11月3日(祝)にもみじ湖来訪者のマイカー1台につき500円分の割引券になるポイント券を1枚(500台のマイカー無作為に抽出)配布しました。結果、我々の予想をはるかに超える7割もの利用があり、推定ではありますが少なくとも、もみじ湖の観光客が箕輪町内での1日当たり100万円の利用がある事が実証実験によりデータが得られました。



今後、このデータをもとに観光と結びつけたキャッシュレス事業を模索していきたいと思っています。

商

Google 自店情報更新セミナー開催

10月3日・11月22日に、㈱ローカルライフの松澤社長を講師にお迎えし、Google自店情報更新セミナーを開催しました。



Googleへの情報掲載は、事業主の意思に関係なく掲載されているという事で、誤った情報が掲載されていることが多く、それを見たお客様からのクレームにならないよう、また、お客様の来店につながるよう、自店の情報を更新するセミナーを企画しました。

初回の10月3日は、基本的な情報、定休日、営業時間、地図上の店舗の位置訂正など、参加された商工会員それぞれの自店の情報の更新を実際に行いました。

2回目の11月22日は、Googleビジネスプロフィールでのウェブマーケティング戦略についてのお話を聞き、効果的な投稿などについて学びました。

DXの手始めとしてのセミナーでしたが、まだまだデジタル技術を活用し、改善するまでには至っていないと思います。

自分自身のことですが、根本的なことを理解せず、2段階くらい飛ばしてDXに取り組んでいるようです。すでにデジタル化がどんどん進んでいる商工会員の方は次段階へと進み、デジタル化にもう一步の私は、デジタイゼーション⇒デジタルライゼーション⇒デジタルトランスフォーメーション。この意味・内容を機会があれば再度学習したいと思いました。(文 唐澤 京子)

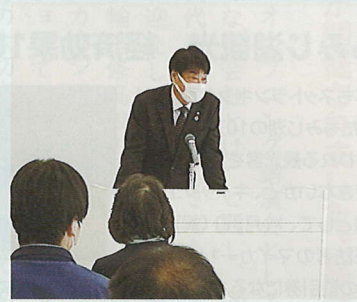
1日目



3.11 を語る会のメンバーの話を聞く
地域活動をしてこなかったため、避難時に声を掛けてもらえず、気が付けば周りの人は皆避難して、残っていたのは自分だけだった



3.11 を語る会のメンバーの案内で富岡町内へ
帰宅困難区域にも。人っ子ひとりおらず、まるでゴーストタウンとなっていた



山本 富岡町長
実際の住民は2000人、その内1000人が原発の関係業者者。まだまだ支援が必要と語った



海を望む高台より
奥には廃炉が決定した福島第2原発が見える



以前は住宅街だったが今は空き地となっている場所が町内いたるところにある



震災当時のままの結婚式場の教会
ここまで津波は来なかったが、地震の揺れだけで全てが崩れた

2日目



ここより工場内視察へ向かう
工場内はデータで管理されていた



入り口にはタンガロイ社の製品が



工場内視察前に
タンガロイ社の説明を聞く



「参加者からの声」

大災害の現地を訪れるということに興味をもって参加させていただきました。幅広い世代の様々な業種の会員の方々と知り合い、お話しできたことは良かったと思います。今回、コロナの心配もあったことから、役員以外の一般会員の方々の参加者が少なめだったのは残念でした。これからはもっとたくさんの方々の参加があればなお良いと思います。
(有)スズラン運送 原豊さん

富岡町では、町長始め、語り人の方による「東日本大震災」当日のこと、福島原発事故が起きた時のことなどを町内をバスで回りながら説明していただきました。今でも震災当時のままの街並みが残っており、語り人さんの勤務していたチャペルも崩れたまま、11年の時が止まっているようでした。町なのに、人が全くいない光景を初めて目にし、衝撃を受けました。それでも、少しずつ復興に前向きな皆さんを見て、身が引き締まる思いがしました。

(株)タンガロイという切削ドリルを製作している工場を視察し、私自身直接ドリルを扱うことはないのですが、整理整頓の行き届いた社内、すれ違う時に交わされる挨拶、当たり前前かがみで普通に行っている環境もすごいと思いました。また、年齢の若い従業員も多くうらやましく思いました。新しい製品を開発するのに何度も試作を重ね、時間・労力・コストをかけていることを聞き、普段なかなか違う業種の方と話す機会もないのでとても刺激を受けました。3部会合同視察研修をし、他部会の方と交流しとても有意義な時間でした。
(有)ヒライ 平井真人さん

東日本大震災以降、箕輪町から富岡町にボランティアが震災復旧の支援を行い、箕輪町にも富岡町の皆さんを招待するなど交流を深めていた事を知り、道半ばの復興状況とともに震災を身近なものとして感じ、災害に対する予防と備えの必要性を確認しました。原発事故は富岡の復興を遅らせ人口1万2千人の内、2千人しか戻っていない中で、富岡町長の前を向く話を通じて今後の町づくりの大変さを痛感しました。世界基準、IT化されたタンガロイ視察も含めて視察研修に参加させていただき、また、交流を深めさせていただき大変ありがとうございました。

(箕輪町 浦野邦衛副町長)

女性部役員研修を終えて

女性部副部長 原久子

葉っぱビジネスとゼロウェイストで有名な徳島県上勝町に行ってきました。葉っぱビジネスは昭和61年からスタートし、料理のつま（もみじ、南天等）で「彩（いろどり）」として町の登録農家が注文を受け、自ら採取してJAに持ち込むシステムとなっていて、高齢者や女性が無気力に働いていました。アイデアを出し合い町全体で考え、成功した経緯を聞くことができ、有意義な研修内容でした。女性部も今後意見を出し合いながら、活発な活動をしていきたいです。



2つ目の研修は「ゼロウェイスト」についてです。「ゼロウェイスト」とは、無駄、ゴミ、浪費をなくすという意味で、上勝町は、ゴミゼロを目指しリサイクル・リユースの推進をして、町の生ごみは各戸で堆肥化、それ以外のゴミは45種類に分別しています。

中でも細かく分別されていたのは紙で7分別、プラだけで4分別していました。また、林業再生と保全活動を結び付け木質ボイラーや薪ストーブを学校へ導入しています。



素晴らしい取り組みを見ようと年間4500人も視察者が訪れ、それを観光資源として、合同会社パンゲアを立ち上げ循環型社会の構築を図っています。研修を終え、私達も

まずは家庭から出来る事に取り組み、SDGsが事業所につながるような仕組みを考えていきたいと思いました。また、徳島県ならではの鳴門の渦潮や阿波踊りの実演も観てきました。自然の広大さや、日本の歴史的文化にも触れ、充実した役員研修でした。

青年部研修旅行

11月18、19日に研修旅行を実施しました。今年度はコロナ禍での新たな試みとして2方面への分散旅行を企画し、神奈川方面は5名、静岡方面へ6名が参加しました。



●神奈川方面・・・1日目は水耕栽培と淡水養殖を両立するアクアポニックス施設の見学を行いました。科学肥料を使わず、通常の農業よりも少ない量の水で栽培を行える環境に優しいSDGsな農業という事もあり、自分達の地域に取り入れる為、都度熱心に質問が飛び交っていました。その後夕食の際に、静岡班とZoomを接続し、1日目の感想を語り

合いました。2日目の江の島、横浜中華街の見学では海辺の街並みに目を奪われながらも、港街の歴史と文化について見識を広げました。少人数という事もあり、自由度が高く小回りの利く移動ができました。コロナ禍という条件下で、企画段階も含めて有意義な研修となりました。

●静岡方面・・・静岡への視察では地域再生を果たした熱海の中心を担った会社（株）machimoriさんを訪れました。代表取締役の市来さん



のお話を聞き、その後実際に商店街や、空き店舗をリノベーションした宿泊施設等の見学をしました。話を聞く中で、箕輪町でも役に立てると思った考えは、「体験型観光へのビジネスモデル変化」、「観光消費への着目」という点です。また市来さんの地域への思いや取り組みの姿勢から「地域住民が地元の魅力に気付く、住民が主役となった町づくりをしていく」事が大事だと感じました。

皆さん、楽しんでますか？

工業部会理事 成瀬敦

今年度の工業部会は、部会を重ねながら「コロナ禍の中でどのような活動が出来るのか」を考え活動してきました。

2年前までは「通常」と思われていた活動が出来なくなり、今まで経験したことないコロナ禍に対して「何が出来るのか？」と考えてみても、結局何も出来ない時期が続いたこともあり



そんな状況のなか、昨年度から工業部会も新体制となり、段々と「コロナ禍だから出来ない」から「コロナ禍のなかで何が出来るか」に考え方が変わってきました。

以前は泊まりで行っていた視察についても、日帰りならば実施できるのではないだろうか、ということで国際展示場へ展示会の視察を行いました。

久しぶりの視察だったこともあり、展示会のみでの視察ではありましたが工業部会員同士の交流も図れ、充実した1日だったと思います。

また、人数を制限して小学校へ親子で体験できるドローン体験教室も町役場と共催で実施いたしました。感染対策も兼ねて小学校単位で体育館と日程を分けて、町内の54組の親子にご参加いただきました。「体験時間が短かった」「大人向けのプログラミング教室も興味がある」などのご意見がありましたので第2弾を春休みに開催する方向で検討中です。

今後、いつコロナが収束するかはわかりませんが、感染拡大防止と社会経済活動の両立を考えながら活動していきたいと思っています。



「マネジメントゲーム研修を体験して学んだこと」

青年部常任委員 荒川桂史

令和4年11月5日(土)にMG研修を行いました。MG研修とは一人一社ずつ会社を立ち上げ、経営意思決定から商品企画・開発・販売・会計・決算までを一人で行う、他の参加者と成果を競うゲーム形式の研修でした。



普段は自社の会計については会計事務所等に任せていることが多いですが、ゲーム内の会社の会計から、マネジメントの基礎である会計・財務スキルの重要性を再確認できました。

今回はMG研修のほんの一部を体験しただけですが、通常2日間行うMG研修では事業計画書の作成や原価計算まで行い、セールスとコストのバランス意識、営業指数と財務計数のメカニズム等を学ぶことができる研修です。経営者感覚をもったリーダー育成を行う優れた研修であると感じました。

**お出かけください
第95回東京インターナショナル
ギフト・ショー春2023**

2月15日(水)～17日(金)の3日間、東京ビックサイトにおいて、第95回東京インターナショナルギフト・ショー春2023が開催されます。

この展示会は、毎回2000社以上が出演し、約15万人が来場する日本最大のパーソナルギフトと生活雑貨の国際見本市で、見に行くだけでも様々なヒントが得られ楽しいイベントです。

この展示会場において、今回初の試みとして、箕輪町商工会の会員事業所様の商品や特徴あるサービスをPRする「箕輪町の魅力発信事業」を行うことになりました。

箕輪町の産業や物品を、見て知って触れていただき、箕輪町を訪れてもらい、箕輪町の事業所様との取引や箕輪町への移住定住に繋がっていきたいというのが事業のねらいです。

商工会のPRブースの他に、会員企業から、(株)T.F.C.、(株)サンケイ商事、ヒットコンポジット(株)、エクシンテック(株)、日本農産種苗(株)の5社が自社製品を展示します。

この機会に、ぜひお出かけいただき、

箕輪町のブースをぜひご覧ください。入場には事前登録が必要です。登録方法など、詳細は商工会までお問合せ下さい。

伴走型小規模事業者支援推進事業補助金活用「プロジェクト・チャレンジ事業」

ユウソウ

「社会は変わる」私たちは今回のコロナ禍を通し、このことを目の前の現実として経験しています。事業者も「変わる」ことが求められ、従来の延長ではない新たな視点で経営現場を見直し、付加価値生産性(儲ける力)の高い経営に変革していく必要があります。

そこで、当商工会は標題の補助金を活用し専門家等を事業所に派遣し徹底した現場実践指導により、収益力の向上と付加価値の増加を図るために経営計画の策定・実施についての伴走型支援を試行的に既に実施しております。現場の改善を図る中で財政改善や原価計算の指導を実施し事業者の収益増加、社員の給与増額に結び付くような事業計画を立てられることを成果目標に支援しています。

また、職員も担当する事業所へ出向き同席することで「中」とも兼ね資質向上等も同時に図っています。今年度の事業成果を踏まえた上で来年度もこの補助金を有効活用して行う予定です。その際には希望事業所を募りますので、興味を持たれた事業者の方は是非申込みをお願いいたします。なお、この事業の概要は次の通りです。

- (1) 実施時期：令和4年11月～令和5年2月初旬
- (2) 支援内容：事業計画作成支援のための専門家派遣
- (3) 専門家：事業者の課題に精通する専門家
- (4) 実施回数：30回(1社6回×5社)

**共済推進事業の県連目標達成!!
皆様のご協力ありがとうございました。**

10月13日より約1か月、共済推進事業を行いました。本年度もコロナ禍の状況を考慮し、満期更新の方を中心に訪問させていただきました。

残念ながら箕輪町商工会の目標は僅かに及びませんでした。長野県商工会連合会からの推進目標は達成することができました。この場を借りてお礼申し上げます。

さて、商工会では企業の皆様のお役に立つ共済を取り扱っております。小規模企業共済は個人事業を辞めるとき、会社役員を退職するときなどの生活資金を予め積立しておく共済です。

他にも多数取り扱っており、中でもビジネス総合保険・業務災害保険・経営者休業補償制度は商工会会員なら掛金が割引されます。

定期的な共済・保険の確認はリスク管理の上でも重要となってきますので、ぜひ商工会へお問合せ下さい。

「ななむろ」商工会のGQ

2022年2月から伊那ケーブルテレビで放送が始まりました。箕輪町商工会自主制作番組「なるほど!商工会のわ」。放送開始から会員の皆さんに「見たよ」と嬉しいお声をかけていただいています。この番組は商工会の様々な事業や箕輪町の企業の様子を紹介し、商工会をとにかく知ってもらおうというところで始めました。毎回10分間という短い時間に悪戦苦闘しながら取り組んでますので、放送を見て少しでも商工会を身近に感じてもらえたとしたら幸いです。

決算・確定申告相談会

決算・確定申告の時期が近づいてまいりました。商工会では例年通り確定申告個別相談会を2月20日、3月3日に開催します。対象の方は、詳しい内容等、商工会からの通知をご確認頂くか、商工会までご連絡下さい。

編集後記

広報委員に参加して5年目となりますが切に時の移り変わりを感じております。コロナ禍ではありましたがそれぞれの部で活動ができるようになり、皆さんに報告できる第54号となりました。

広報委員はそれぞれモチベーションが高くなる気満々のメンバーです。手作り感ある報告を作るためそれぞれアイデアを出し合い、それを聞くことで自分自身が高められ勉強になり、最高の出会いとなりました。

SNS、Youtube など情報の変化があり、時代にあった会報作りも大切ですが、委員長の考えでもある、紙で作った会報誌の良い点を活かしていくことも大切だと思います。

会員の皆様へ大切な情報が届けられるよう、あと1年楽しい広報委員メンバーで考えていきます。

この会報が会員の皆様に身近に置いていただき情報共有ができる会報誌になることを願っています。

小松 ちよ子

広報委員

- 委員長 唐澤 寿
- 副委員長 小林 将生
- 委員 大森 弘幸
- 竹内 一真
- 小松 ちよ子
- 事務局 唐澤 一美

新入会員紹介

令和4年8月～5年1月

- (株)黒河内
業種/飲食店 地区/木下
- ミノワスポーツ
業種/運動用品販売 地区/松島
- 千万音
業種/製造・販売 地区/南小河内

- 工業部会
○日本電磁測器(株)
業種/磁気応用製品企画、製造・販売
地区/上古田